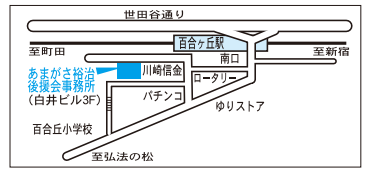




発行所/みらい川崎市議会議員団事務局
 〒210-8577
 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内
 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011
 川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F
 小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分
 TEL・FAX:044-955-2417
 メール: amagasa@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

新百合ヶ丘駅～あざみ野駅を結ぶ 横浜市営地下鉄3号線延伸、事業化決定

長年取り組み続けた 大きな公約が実現します

2019年1月23日、林文字・横浜市長と福田紀彦・川崎市
 長が共同記者会見を行い、横浜市営地下鉄3号線の延伸
 の事業化を発表しました。私、あまがさ裕治は、横浜市営
 地下鉄3号線延伸をライフワークとして取り組み続け、こ
 の間、市民の意見を伺いながら、横浜市と川崎市のムー
 ブメントを起こして来ました。

政治は結果です。実現するまで、やり抜くことなのです。

これまでの私が行った横浜市営地下鉄3号線あざみ
 野～新百合ヶ丘延伸に関するアンケート調査は、地下鉄
 延伸と、まちづくりあわせて今回で22回、足かけ12年にわ
 たり、3,000万円を超える政務調査費を投入し、本来、行政
 が行うべき調査を先行して実施するなど、まさに延伸実
 現に向け、市民の協力を得てムーブメントを作ってきました。
 多くの調査結果を、川崎市、横浜市に渡してきました。
 そのなかでも、特にルートについての意向調査をは
 じめとした周辺地域事情などは、両市ともに有益な資料
 として活用をされてきました。今後とも皆様からいただ
 いた意見が反映される様、努力を続けてまいります。

「地下鉄延伸によるまちづくり」とは 時代を則し、次世代につなぐこと

地下鉄延伸によるまちづくりとは、30年前に新百合ヶ
 丘駅南口に建物は何もないときに、将来の人口増加を考
 えると、このインフラでは耐えられなくなると考えての政
 策です。地下鉄延伸の経済効果により、活性化を図り、時
 代にマッチした再整備で、次世代に責任を持って「まちを
 つなぐ」という大きな意味を持っています。

開業を早めるために さらに具体的なまちづくりのプランを 皆様と共に作り上げるときです

平成31年度に、川崎市は新百合ヶ丘駅乗り入れのため
 の本格的な調査に取り掛かり、いよいよそれに伴いルー
 トや新しい新百合ヶ丘駅と中間駅の位置が決定され、構
 造も見えてくる具体的なまちづくりの局面を迎えます。

具体的な取り組みが急激に加速していく中で、現在私
 は交通政策審議会で示された「乗換5分以内」という条件
 に合致する南口の候補地や、ルートを曲げるために必要
 と予想される土地(空地更地)情報の提供、また、新百合ヶ
 丘駅周辺再開発のために絶対必要となる「バスターミナ
 ルの一時移設」のための代替地の確保などの検討材料を
 提供しています。様々刻々と変化を遂げる地域環境事情
 を取り入れ、事業化が遅滞なく進む様に努力しています。

中間駅位置は大変重要ですが、2年前から提言してい
 る両市のバス路線再編、中間駅前ロータリーの整備など
 ができてこそです。地下鉄延伸エリアにおける交通利便
 性向上は、高齢化社会への対応だけでなく、若い世代
 を迎えられる、循環型、持続可能性のある住宅地のまちづ
 くりのためには不可欠です。

さらに、市民への説明意見聴取を機会あるたびに川崎
 市、横浜市に開催する様求めてきましたが、具体化してい
 く中で、両市とも丁寧な市民への説明機会の確保を約束
 しました。今回の横浜・川崎両市長の共同記者会見も、私
 から川崎市長に要請し、実現したものです。

皆様の声を今後ともお聞かせください。まちづくりは皆
 様の声とともに進んでいかなければならないのです。



新しく生まれかわる 新百合ヶ丘駅周辺に 求めたいことについて 皆様のご意見を!



川崎市議会議員
あまがさ裕治 (ゆうじ)

このまちで暮らしている実感を聞かせてください

【設問1】 あなたが新百合ヶ丘駅周辺エリアに求めるものは
 どんなことでしょうか?(複数回答可)

- 1) ショッピングセンターなど商業施設
- 2) 飲食店
- 3) 行政機能
- 4) 芸術文化関連施設
- 5) スポーツ施設
- 6) アミューズメント系施設
- 7) 教育施設
- 8) オフィス施設
- 9) その他

具体的に []

【設問2】 これからのまちづくりにとって大切なポイントだと思うことを
 お書きください。

[]

【設問3】 皆さんのお住いの地域の変化などお聞かせください。

[]

お住まいは? **麻生区** ・ **丁目**

※集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番を御記入下さい

平成30年11月26日、川崎市まちづくり局交通政策室に進捗を確認

<調整状況等>

■横浜市との協議状況

○平成30年度における横浜市との連絡会実績
 副市長級 2回(7月、11月) 部長級 2回(6月、11月)、
 課長級 高頻度で実施 係長級 高頻度で実施

■小田急電鉄との意見交換

横浜市、川崎市の3者で引き続き意見交換を実施

■川崎市市内における作業状況

新百合ヶ丘駅に関する基礎的検討に着手。昨年度から引
 き続き、延伸分ルートや中間駅のあり方など関係課と調整

あまがさ裕治の主な取り組み (2016年～2019年)

これまでの30年間の取り組みはHPをご覧ください。



2016年 4月	国土交通省、交通政策審議会の答申発表 あまがさ、国交省鉄道局都市鉄道政策課長にヒアリング 「横浜市営地下鉄3号線延伸は実現性の高い路線」と評価
2016年11月	あまがさ、横浜市長に事業着手宣言を要望
2017年 1月	横浜市長、事業着手を宣言
2017年 2月	川崎市長、あまがさの質問に「横浜市は2019年3月までに事業化を 判断するので、連携して、しっかり取り組む」と答弁
2017年12月	あまがさ、皆様からの延伸促進の署名を、三浦・担当副市長に提出
2018年 3月	川崎市、2018年度予算に延伸に関する予備調査1千万円、 新百合ヶ丘駅周辺まちづくりの方向性検討に528万円予算計上
2018年 8月	あまがさ、延伸に伴う新しい新百合ヶ丘駅のあり方等について 市民アンケートを実施
2018年12月	川崎市の代表質問で、まちづくり局長から「中間駅の駅位置や周辺の まちづくりに関する検討、ルートの検討などを行っている。市民への 情報提供については、丁寧な説明を行う」という答弁を引き出す
2019年 1月	川崎市交通政策室長へ要請 1月23日両市長共同記者発表